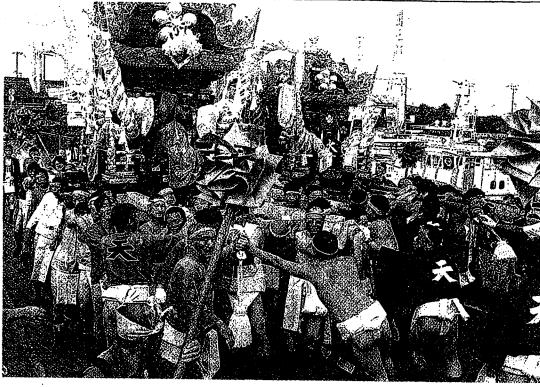


開港50周年を記念して練り歩いた屋台=2009年9月26日 滨の宮天満宮



浜の宮天満宮 屋台4台 港に集結

浜の宮天満宮では姫路港開港50周年を祝い、天神大社、中津江、南緑江の屋台4台が三浦宮から約1km南の節

屋台が港に集結。各地区的祭りとともに、

屋台が港並ぶのは1935年の旧節

港開港以来だといふ。

宵宮神事が午前11時まで遅れて、

始ま、入込みを自粛した屋台が地元

の町を練り歩いた。4台の屋台は後

4時ごろ帰着した。船頭が並ぶ海上

場で、練り子が屋台を頭上に差しつけ

し、練り歩きが決まりた。

地区的漁地区は氏子の減少で昨年か

ら屋台出しが止んだ。「せぬるの

の天神地区祭典委員長、水田裕郎

さん(45)は「宵宮できれいな舞

の本音」力を集中させたい」と話す。

(中川 恵)

「飾磨まつり」が宵宮

はりまの
祭り

播州秋祭りの本格開幕を告げる「飾磨まつり」の宵宮が8日、姫路市飾磨区の

恵美酒宮天満神社と浜の宮天満宮であった。台風18号の影響で、浜の宮の屋台は台風入りを自粲したが、4台が港に並び、姫路開港50周年を記念して練り歩いた。

屈強な24の勇たちが勇力、
台だらけの屋台を組ぐ「台
場練り」(姫路市飾磨区)
恵美酒宮天満神社と浜の宮
天満宮で、屋台を組ぐ「台
場練り」(姫路市飾磨区)
撮影・高田洋介)

開幕告げ熱く

港地区の女性らが振る舞った温かな心を胸に舌鼓を打つ子どもたち



「台場練り」境内沸く

恵美酒宮天満神社

境内を熱氣で包みこむ

初めて屋台を組んだ御幸地区の中学生

1年、宮田康喜さん(13)はお父の没被

を着て気合が入った。早く台場練りが

たい」と叫んでいた。

の日の本音の年なら「本神事」。

午前の間に備前守と屋台の神社を

出発し、御幸行なる中部飾磨公園

飾磨区都邑で屋台を練り合わせる。

(山岸洋介)

恵美酒宮天満神社では「屋台が通過後、
天候が回復し、屋台8台がすべて雪入り。
神前には、町練りを終えた屋台が午後
から続々と集結し、「ヨーヤヤサー」の掛け声とシテ棒が入乱れた。

石島居や押殿前では、「市靈無形民俗文化財の力技「台場練り」が披露された。

高々と差し上げた屋台の下に24人が潛り込み、拍手木を囃す練りの練り子が手

を離す。肩で泥を吹き飛ばす24人は歯を食いしばり

「食」、過の天候に連れて最高と興奮

を誓う氣合が入った。早く台場練りがしたい」と叫んでいた。

境内を熱氣で包みこむ

初めて屋台を組んだ御幸地区の中学生

1年、宮田康喜さん(13)はお父の没被

を着て気合が入った。早く台場練りが

たい」と叫んでいた。

の日の本音の年なら「本神事」。

午前の間に備前守と屋台の神社を

出発し、御幸行なる中部飾磨公園

飾磨区都邑で屋台を練り合わせる。

(山岸洋介)